

2025年3月28日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

三菱UFJアセットマネジメントにおける運用人材の人事・報酬制度の見直し

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規^{かめざわ ひろのり}）の連結子会社である三菱UFJアセットマネジメント株式会社（取締役社長 横川 直^{よこがわ すなお}、以下 三菱UFJアセットマネジメント）は、[2024年1月15日のプレスリリース](#)でもご案内の通り、「資産運用立国」の実現に貢献すべく資産運用ビジネス戦略の取り組みを進めてきました。このたび、その取り組みの一つとして、アクティブファンドの運用に従事するファンドマネジャーの人事・報酬制度（以下、AFM制度）を2025年4月に改定することをお知らせします。

政府が我が国の経済成長と国民の資産所得の増加を繋げる「資産運用立国」を掲げる中、2024年1月に開始した新たな少額投資非課税制度（NISA）を契機に、資産運用業界を取り巻く環境はかつてないほど変化しており、資産運用会社に求められる期待役割も大きくなっています。

このたび、改定するAFM制度では、運用成績と賞与の連動性を高めることに加え、ファンドマネジャーの報酬の一部を、自身が運用するファンドの運用成績と連動させることで、投資家のみなさまと利益の共有を行い、これまで以上に投資家目線の運用に努めてまいります。また、日系同業他社との比較でもトップクラスとなる報酬水準を実現し、運用人材の育成・確保にも注力いたします。

三菱UFJアセットマネジメントは、これまで以上にご期待に応え続ける資産運用会社をめざし、運用力を一層強化してまいります。

【改定するAFM制度の概要】

1. 運用成績と賞与の連動拡大

ポイント	現行制度	新制度
✓ 投資家の期待リターン獲得へのインセンティブ強化	運用成績に応じ±20%程度の年収増減	✓ 運用成績により ▲30～+60%程度の年収増減 ✓ 年収総額に占める賞与比率を現行比拡大

2. ファンドユニット制度の導入（新規）

ポイント	現行制度	新制度
✓ 投資家との利益の共有 ✓ 運用人材の育成・確保	—	✓ 報酬の一部を自己運用ファンドの運用成績に連動させ支給

3. 報酬水準の引き上げ

ポイント	現行制度	新制度
✓ 競争力のある報酬水準	—	✓ 同業他社比トップクラスの報酬水準

以上